


ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

あと夢 (アトム)

幻の村・新川を訪ねて荒川へ

(JR 行田駅 ～ 同駅)



2月末の河川敷、寒風吹きすさぶ中歩くのかと心配していたら、予想は良い方向にハズレ。穏やかな春の日差しのもと、絶好の歩き日和となりました。

今回はこの地区で調査を続けて十一年の島田さんにご案内いただき、今は誰も住んでいない新川村跡を歩きます。



堤防を越えると、そこは田畑地帯でした。
この田園地帯こそが、新川村跡地一帯となります。



堤防決壊の石碑の前

堤防上では、島田さんより、堤防が決壊した際のお話など、貴重なお話を聞くことができました。堤防をはさんで片側が市街地、もう片側が川と廃村です。両側の高さを確認して、市街地側の方が低いことに多くの方が驚いていました。

また、廃村上空は鳥たちの天国。猛禽類のノスリや、モズなどが出現し、みなさんの関心を集めていました。



ノスリを発見



ジャンパーに見事にウンがつかしました

鳥の多さ故でしょうか。私、のぐたんのジャンパーには鳥の糞らしき白いものが……。今年もこれで「ウン」がついた？

廃村の墓地は、草が生い茂り、墓石が倒れているなど、非常にわびしさを感じる場所でした。夜に訪れたらおばけが出たかも？

お墓が作られた年代を調べると、江戸時代から平成までありました。時代を感じます。



廃村の墓地

お昼前の道中で、大きなフキノトウが見つかりました。参加者のみなさんからは「きれい」という感嘆の声とともに、「天ぷらにするには大きすぎるかな」という食欲に裏付けられた意見がありました。

見るにしても食べるにしても、フキノトウの姿に、春の訪れを感じるのは共通していたのではないのでしょうか。



フキノトウ



今回は2名の方が修了証を授与されました。おめでとうございます。



鳥居の上は折れていました



ひっそりと残るお社

廃村の神社跡です。その鳥居は半分近くが土砂に埋もれ、頂上部は折れ曲がっていました。鳥居の先は草が生い茂り、何ものなさそうに見えたのですが、奥の方を探してみると、ひっそりと朽ちたお社が残っていました。見つけたからには、みなさんそろってお参りです。お社の神様も久々に多くのお客が来て、びっくりしたかもしれませんね。



堤防沿いには満開の菜の花が



ノウサギの糞

堤防沿いでは、綺麗な菜の花が、春の訪れを告げていました。また、今年の干支のノウサギの糞も発見。みなさんには、うんちではなく運がつくと良いですね。